

前橋市教育施設長寿命化計画（改訂）（案）についての パブリックコメントの実施結果

1 意見募集期間

平成31年1月16日（水）から平成31年2月15日（金）まで

2 意見提出状況

(1) 意見提出者数：3人

(2) 意見提出件数：8件

3 意見及び市教育委員会の考え方

意見の概要とそれに対する市教育委員会の考え方は、下記記載のとおりです。

なお、取りまとめの都合上、提出された意見は要約しています。

貴重な意見をいただきまして、ありがとうございました。

意見の概要	意見に対する市教育委員会の考え方
<p>①教育施設長寿命化計画の改定について、小中学校などの学校施設に対する施設使用目標年限を明確に定義したことについて評価する。</p> <p>今後は、この計画に基づき、予防保全的な視点で施設の点検や改修を、予算を確保しながら着実に進めてもらいたい。</p>	<p>①日常的な保守点検や法令で定められた定期点検により施設の状況を把握し、予防保全的な維持管理、改修を行っていきたいと考えています。また、補助金等を有効に活用しながら予算を確保していきたいと考えています。</p>
<p>②公民館などの社会教育施設は、各地区の行政・社会教育・防災上の拠点として、その役割が増々高まっている。多くの施設で計画的に整備が進み機能が充実してきているので、公民館なども具体的な目標使用年数を明示してもらいたい。</p>	<p>②公民館の構造については、主に鉄筋鉄骨コンクリート造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造となっています。これら構造の目標使用年数は、6ページ中段の【教育施設の目標使用年数】のとおり65年に設定しています。しかし、掲載ページをわかりやすくするため、(建物の目標使用年数は6ページをご参照ください。)を追記します。</p>

意見の概要	意見に対する市教育委員会の考え方
<p>③前橋市教育施設長寿命化計画策定の目的は、長寿命化により「ライフサイクルコストの縮減」、「財政負担の平準化」を図ることとされている。「ライフサイクルコストの縮減」については、目標使用年数の延伸と長寿命型改善事業の実施により実現するという対応が示されているが、「財政負担の平準化」については、長寿命化改修や改築時期の「前倒し」、「一部先送り」という言葉で説明されているものの、過去5年間の平均事業費の3倍以上のコストがかかるとの試算になっているため、更なる財政負担の平準化への取り組みが必要と考える。</p>	<p>③財政負担の平準化という面では、整備コストの縮減、学校施設の保有面積や運営面・活用面の検討、他施設との複合化等多面的な見直しのほか、新たな手法を研究していくことも必要と考えています。他自治体の事例などを参考に、民間の経営ノウハウや資金を活用するPFIによる学校整備などの研究も進めていきます。</p>
<p>④「他施設との複合化」という言葉が出てくるが、具体的な事例や説明が必要だと考える。</p>	<p>④「他施設との複合化」については、25ページの最後に注釈⑦として、「⑦施設の複合化とは、一つの土地や建物に複数の施設（機能）を集合させて整備すること／本市の学校施設における事例として、敷地内や校舎内に放課後児童クラブを設置している小学校がある／また、桃井小学校では第一コミュニティセンターや放課後児童クラブ、消防分団を併設している」と追記します。</p>
<p>⑤学校を含めた教育施設全体について、「・・・現状のサービスごとに施設を整備する「施設重視型」から、施設を複合化しながらもサービスを維持していく「機能重視型」への転換を進め、施設保有量を減らしていくことが有効と考えられます。・・・」としていることから、学校施設の「適正規模・適正配置」の考え方と整合を図っていく必要があると考える。</p>	<p>⑤機能重視型への転換のうち学校施設につきましては、学校の適正規模・適正配置に関する様々な課題を解決しながら進めていく必要があると考えています。</p>

意見の概要	意見に対する市教育委員会の考え方
<p>⑥建物の目標耐用年数を延長するとされているが、さらなる長寿命化を図ること、また、それに応じて適切な施設整備を行っていくことは、施設を維持管理するコストを抑えるうえで必要であり、今回の改定案は重要なことである。</p>	<p>⑥本計画を着実に実施することで、コストの抑制を図っていきたいと考えています。</p>
<p>⑦教育施設、特に学校施設においては、児童、生徒が安全かつ快適に学校生活を送れることが求められる。学校施設の老朽化が進んでいるなかで、施設整備に要する予算対応も厳しい状況と思うが、本長寿命化計画をふまえて計画的に施設整備を行うことで、安全で快適な学校施設として整備してもらいたい。</p>	<p>⑦本計画中に定めた学校施設の整備計画に基づき、より実効性のある計画を定めながら、計画的な施設整備を進めていきたいと考えています。</p>
<p>⑧施設の状況は年々変化していくため、教育施設長寿命化計画を定期的に見直してもらいたい。また、日常的な点検を行い、危険箇所を把握して常に安全な施設となるよう管理してもらいたい。</p>	<p>⑧本計画については、定期的に見直すとともに社会・経済情勢や国の補助制度の動向により必要な場合は、見直しをする予定です。また、日常的な保守点検や法令で定められた定期点検等により施設の状況を把握し、安全な施設として管理していきたいと考えています。</p>